

# 第六次総合計画 施策評価シート(令和2年度)

1-③

施策

学校教育の充実を図る

担当部局

教育委員会

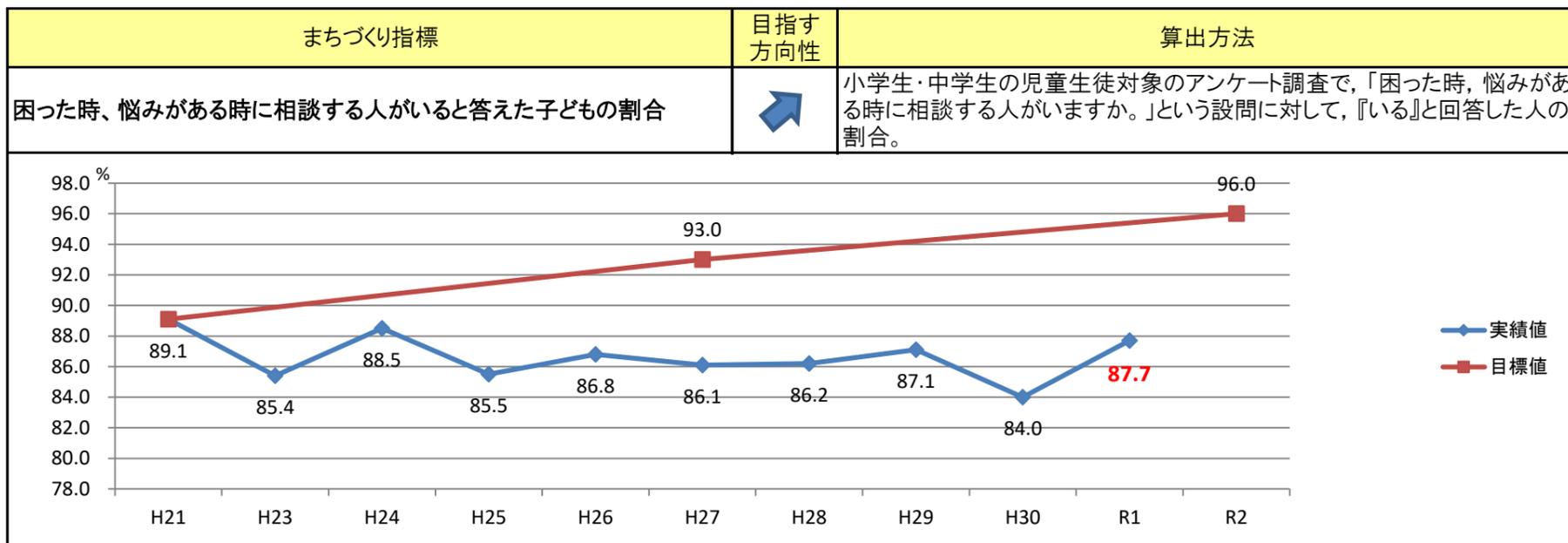
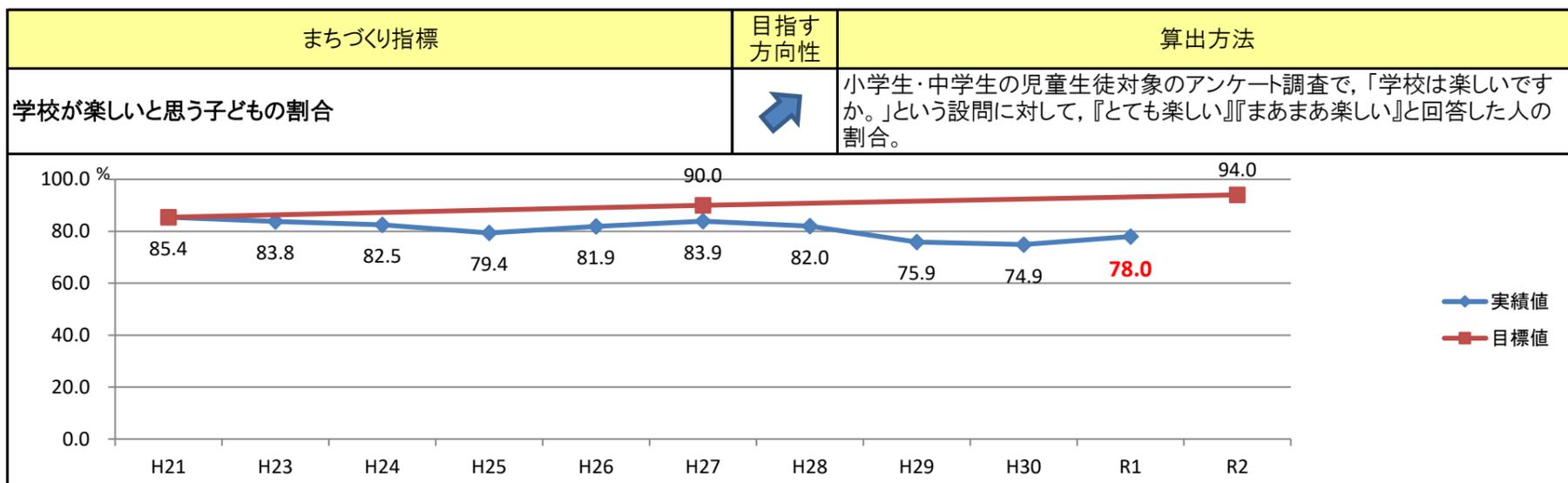


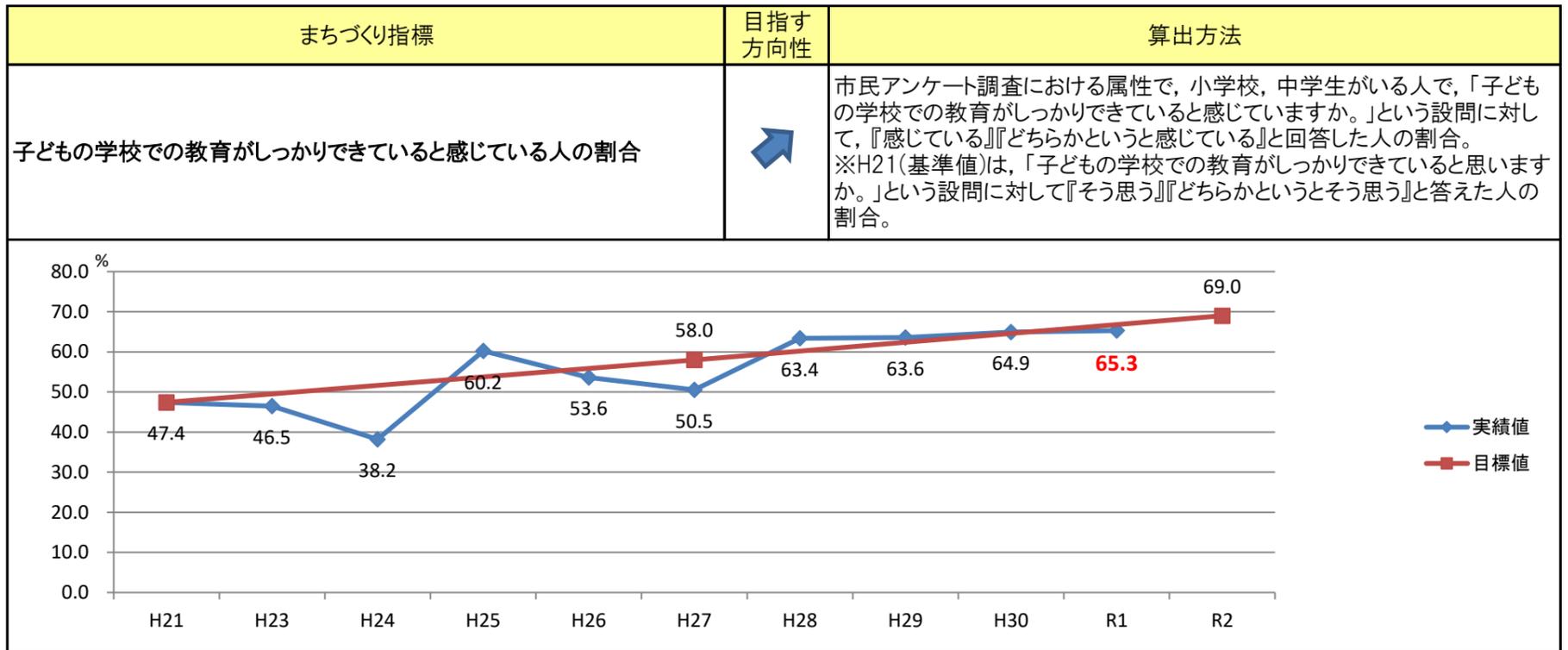
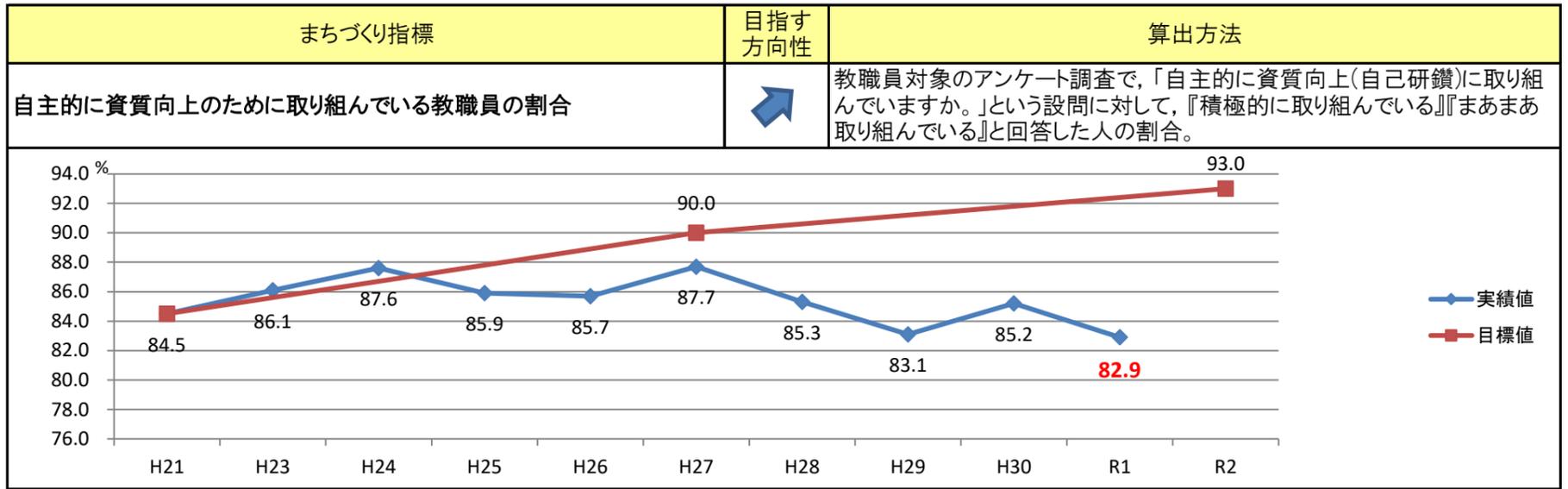
**【自律】** めざまちの姿 教員の資質が保たれるなど、学校教育が充実している

市の基本方針

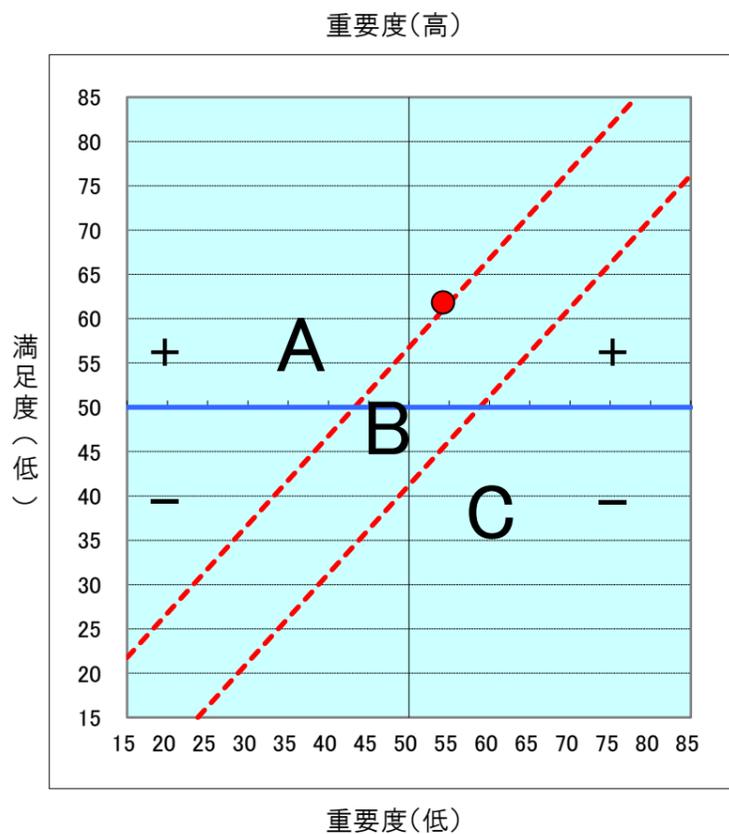
- 子どもの持ち味を生かした教育を充実させ、確かな学力の向上を図るとともに、心豊かにたくましく生きていく意欲と実践力を備えた心身ともに健やかな人間の育成に努めます。
- 学校園、家庭、地域が一体となって子どもを守り育てていく気運を醸成するため、学校評議員制度等を活用し、地域に開かれた学校づくり、地域に根ざした特色ある教育活動を推進するとともに、校種間の連携を図った教育活動の推進に努めます。
- 子どもや保護者からの信頼にこたえ、子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育を推進するため、教職員の資質・能力を高め、実践的な指導力を向上させるとともに、教職員の意識改革を進め、学校改革を支援し、学校園の教育力の向上に努めます。
- 経験豊富で優れた指導力をもつ退職教員等を活用するなど、教員研修を充実させ、教職員の資質と指導力の向上に努めます。
- 社会人・職業人として自立するために必要な知識、技術、能力や態度を育成するため、多様な職業体験やボランティア活動等の機会を提供するなど、キャリア・職業教育を充実します。
- 多様化する学習内容と子どもたち一人一人の習熟度に対応するとともに、高度情報化社会に必要な資質を養うことができるよう、情報通信技術を活用し、情報教育環境を充実します。
- 安全・安心な学校づくりのため、耐震補強工事や老朽施設の大規模改修等を計画的に実施するとともに、時代の変化を見据え、だれもが利用しやすい環境に配慮した、ゆとりと潤いのある施設整備に努めます。

数値目標





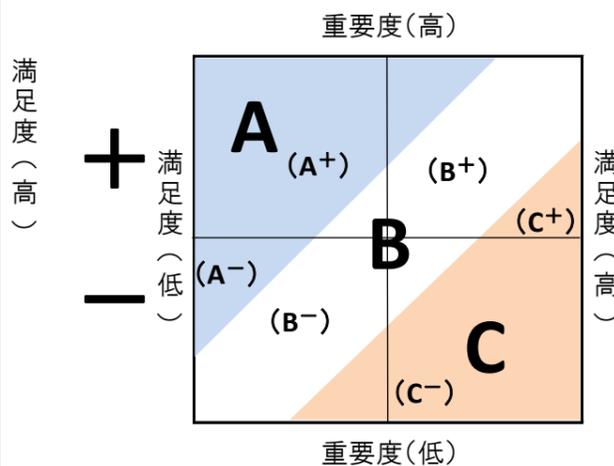
市民の重要度・満足度(R2.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
B <sup>+</sup>	61.83	54.25

- 重要度に見合った満足度が得られている(B)
- 重要度が平均値より高い(+)

【グラフの見方】



- A: 重要度に見合った満足度が得られていない領域
  - B: 重要度に見合った満足度が得られている領域
  - C: 重要度に見合う以上の満足度が得られている領域
- ※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割(3×2領域)
- + : 重要度が平均値より高い部分
  - : 重要度が平均値より低い部分
- A<sup>+</sup>, A<sup>-</sup>, B<sup>+</sup>, B<sup>-</sup>, C<sup>+</sup>, C<sup>-</sup>
- A<sup>+</sup>: 重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
重 公	学力向上支援事業	(Ⅰ) 学習支援ソフトの活用, 春休みの課題の作成, 学習支援員の配置などにより, 児童生徒の基礎学力や学習意欲の向上を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 学力向上支援員を小学校34校に43人, 中学校8校に11人配置した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	17,376
重 公	少人数指導による「確かな学力」向上支援事業	(Ⅰ) 児童の基礎学力の定着を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 県費の少人数加配がされていない学校に, 市費で非常勤講師を配置し(小学校34校45人), つまづきが発生しやすい小学校3・4年生の算数の時間に少人数指導(習熟度別学習を含む)を市内の小中学校で実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	59,064
重 公	倉敷市学力調査事業	(Ⅰ) 中学校1・2年生の全生徒を対象に学力調査(理科・社会)を実施した。 (Ⅱ) 中学1年生4,078人, 中学2年生3,862人に実施し, 学力調査の結果を学校や生徒, 保護者に返却し, 学習や授業の改善に役立てた。 (Ⅲ) 令和元年度で完了した。	6,134
重 公	放課後学習サポート事業	(Ⅰ) 学力の基礎基本の定着を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 小・中学校に放課後学習支援員を配置し(小学校54校99人, 中学校25校29人)学習の理解を深めるため, 学習支援システム等を活用して, 児童生徒の状況に応じた学習支援を実施した。 (Ⅲ) 放課後の他, 長期休業中を活用した学力の定着に有効な事業のため, 継続して実施する。	8,954
重 創	地域連携による学校支援事業	(Ⅰ) 地域全体で学校教育を支援する体制を整え, 生涯学習の成果を活かした地域住民による学校支援活動を推進することにより, 子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに, 地域の教育力の活性化を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 小学校区45カ所, 中学校区19カ所, 支援学校区1カ所で事業を実施した。ボランティア登録人数は6,681人, 延べ237,864人のボランティアが学習支援や環境整備, 地域活動などの学校支援活動に参加した。 (Ⅲ) 実施校拡大を図りながら継続して実施する。	36,285
重 公	基礎・基本定着モデル事業	(Ⅰ) 朝学習の時間に, 音読・計算・漢字等の学習を通して基礎基本の定着を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 小学校に総合アドバイザー, 音読アドバイザー及び校内研究支援員を配置。(小学校5校) (Ⅲ) 基礎基本の定着と学習意欲向上のため, 今後も継続して実施する。	694
重 公	学校園支援ボランティア活用事業	(Ⅰ) 学校園のニーズに応じてボランティアを派遣することを目的に実施した。 (Ⅱ) 保育・授業中の支援や放課後学習支援など, 学校園の教育活動を支援するボランティアを学生や市民等から募集・登録した。真備地区の災害時に緊急措置としての派遣も多くあった。 (Ⅲ) 学校園からのニーズが高いことから, 継続して実施する。	107
	デジタル教科書等整備事業	(Ⅰ) 教師が日常的に普通教室や特別教室, コンピュータ教室でICTを活用した授業を行い, 学習指導要領で示された児童生徒の情報活用能力と確かな学力の向上や情報モラル意思の啓発を図るために, 教育効果の高いデジタル教材の利活用ができるように支援した。 (Ⅱ) デジタル教材のうち, 全小・中学校に整備されているデジタル教科書は, 授業で126,164件の利用があった。 (Ⅲ) デジタル教材の活用ができるよう, 利活用の支援を継続して実施する(デジタル教科書は, 採択替え年度に購入するため, 購入年度以外は決算額0である)。	0
重	教育用コンピュータ整備事業	(Ⅰ) 子どもたちの情報活用能力の育成と, 教員の情報通信技術を効果的に活用した分かりやすい授業の実現を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 中学校16校のコンピュータ教室用機器, 校務用コンピュータ, 教育用サーバー等の更新整備を実施した。 (Ⅲ) コンピュータ教室や各教室に整備されている機器や児童生徒1人1台端末を使って, ICTを活用した学習が意欲的に進められるよう, 効果的に活用するための支援を継続して実施する。	251,705
	校庭芝生化・壁面緑化事業	(Ⅰ) 学校園の緑化, 子どもたちが裸足で自由に遊べる場の提供, 子どもたちに地球温暖化防止や自然の大切さ, 身近な緑に関心を持たせることを目的に実施した。 (Ⅱ) 第四福田小学校の校庭に芝生の植栽を実施した。校舎の工事実施校を除き, ほとんどの学校で壁面緑化を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	4,049
重 公	西阿知小学校校舎・西阿知幼稚園園舎建設事業	(Ⅰ) 校舎と園舎を合築して建設することにより, 児童数・園児数の増加に対応することを目的に実施した。 (Ⅱ) 西阿知小学校・西阿知幼稚園複合施設建設工事に着手した。 (Ⅲ) 継続して実施する。(令和2年度完成予定)	303,182
重 公	中学校校舎等建設事業	(Ⅰ) 平成30年度に実施した東陽中学校校舎・給食調理場増築工事と南中学校校舎・プール建築工事完了後の周辺整備工事を行う。 (Ⅱ) 東陽中学校のテニスコート整備工事と南中学校の部室等新築工事・プール解体工事が完了した。 (Ⅲ) 引き続き南中学校グラウンド整備工事を実施する。(令和2年度完成予定)	118,710
重 公	西中学校木造校舎保全事業	(Ⅰ) 西中学校の木造校舎を保全改修することにより, 安全で安心な学校施設を整備することを目的に実施した。 (Ⅱ) 西中学校木造校舎南棟保全改修工事に着手した。 (Ⅲ) 継続して実施する。(令和2年度完成予定)	329,374
公	学校屋内運動場照明LED化事業	(Ⅰ) エネルギー効率の悪い水銀灯・メタルハライドランプが残っている学校の照明器具を計画的にLED照明に変更することにより, CO2の排出量を削減し省エネ化を図る目的に実施した。 (Ⅱ) 富田小学校ほか6校の屋内運動場の照明設備を改修した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	43,063

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
重 公	茶屋町小学校屋内運動場・茶屋町東幼稚園園舎建設事業	(Ⅰ) 茶屋町小学校の第2屋内運動場と茶屋町東幼稚園の園舎を合築して複合施設を建設することにより、児童・園児数の増加に対応することを目的に実施した。 (Ⅱ) 茶屋町小学校第2屋内運動場・茶屋町東幼稚園複合施設の工事が完了した。 (Ⅲ) 令和元年度で完了した。	429,368
公	小学校エアコン設置事業	(Ⅰ) 小学校の普通教室へエアコンを設置するとともに特別教室へのエアコン設置に向けた実施設計を行う。 (Ⅱ) 小学校の普通教室空調設置工事および特別教室空調設備実施設計が完了するとともに、受変電設備改修工事に着手した。 (Ⅲ) 継続して実施する。(令和2年度完了予定)	2,632,685
公	中学校特別教室エアコン設置事業	(Ⅰ) 中学校の特別教室へのエアコン設置に向けた実施設計を行う。 (Ⅱ) 中学校特別教室空調設備実施設計に着手した。 (Ⅲ) 継続して実施する。(令和2年度完了予定)	0
公	学校プール共同使用事業	(Ⅰ) 沙美小学校のプールを改修し、黒崎中学校と共同利用することにより、施設整備費や維持管理費の縮減を図る目的で実施した。 (Ⅱ) 黒崎中学校のプール解体工事が完了した。 (Ⅲ) 令和元年度で完了した。	26,349
都	新共同調理場整備事業	(Ⅰ) 倉敷・倉敷北・玉島・船穂の学校給食共同調理場の老朽化等に伴い、4共同調理場を集約する新共同調理場を整備することを目的に実施した。 (Ⅱ) 閉鎖した倉敷・倉敷北学校給食共同調理場の解体工事が完了した。 (Ⅲ) 閉鎖した玉島・船穂学校給食共同調理場を解体する。	114,279
重	G7倉敷宣言アクションプログラム推進事業	(Ⅰ) 小学生中学生が自分たちの地域や歴史や文化を学ぶことをはじめとして、郷土を大切にすることを育む取組を進めるとともに、外国の文化や人々と触れ合うなど、国際理解を進める機会を充実させることにより、子どもの多様なコミュニケーション能力の向上を図る。 (Ⅱ) 「倉敷こどもサミット」については、新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかった。教職員に対しては、海外より大学講師を招聘しIB(国際バカロレア)教育体験研修を実施した。 (Ⅲ) G7倉敷宣言の趣旨に沿ったグローバルな子ども教員を育成できるよう、幅広い国際理解の醸成とともに英語におけるコミュニケーション能力の育成に注力していく。	2,871
	学校園事務ネットワークシステム更新事業	(Ⅰ) 使用期限が到来する現行システムの更新を機に、学校経営や教育政策に効果をもたらす「統合型校務支援システム」の機能を加えた「学校園事務ネットワークシステム」の構築を行うことを目的に実施した。 (Ⅱ) 新しい学校園事務ネットワークシステム(統合型校務支援システム)について、2学期より学校向けの説明会や研修を実施し、あわせて試行を行うなど令和2年3月の切り替えがスムーズに進むよう、準備を行った。 (Ⅲ) 更新事業は令和元年度で完了した。今後は、安定した業務が行えるよう関連部署と連携し、運用支援を継続して実施する。	91,152